

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ぼっぼ		
○保護者評価実施期間	R7年11月21日		R7年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35家庭	(回答者数) 14家庭
○従業者評価実施期間	R7年11月21日		R7年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月2日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様な支援サービスの提供体制があること 『ぼっぼ』放課後等デイサービス 『ホームヘルプ』居宅介護、同行援護、移動支援 『ポンテ』青年活動 『エルデ』グループホーム、ショートステイ	各支援を個々のニーズに合わせて柔軟に組み合わせる事で、利用者に最適な支援を提供しています。また、各サービス間での連携を強化し、利用者が成長する過程において必要に応じて支援内容を変更しています。利用者にとって柔軟で途切れのない継続的な支援が受けられます。	各サービスの連携を強化し、利用者が安心して支援を受けられるよう、支援計画と情報共有の質を引き続き高めて行きます。
2	自己選択しやすい自由で楽しい環境	子ども達が自由に選択できる活動の幅を広げる為に、遊びの中で自分の意見を表現できる場(クッキング・おでかけ・制作)を作っています。楽しさを感じられる環境づくりを職員間で子どもの普段の姿を共有し、話し合いながら活動や関わりを考えています。	子どもたちが「やってみたい」と思える活動を増やし、安心して取り組める従来からの安定した遊びを大切にしながら、季節の行事やイベント活動も取り入れています。落ち着いて過ごせる時間と、特別な体験の両方を子ども達が自分の気持ちや「やってみたい」という思いで選び、表現できる機会を更に広げていきます。
3	豊富な資格者と幅広い年代の職員体制	保育士・幼稚園教諭・介護福祉士・社会福祉士などの資格を有する職員が在籍しており、それぞれの専門性を生かした支援を行っています。更に、若手から経験豊富な職員まで幅広い年代のスタッフが在籍している事が強みです。	多様な視点や経験を持つ職員同士が意見を出し合う事で、子ども達一人ひとりに合わせた柔軟な支援に繋がっています。また、職員間での情報共有や学び合いを大切に、支援の質を高めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の質を維持しながらの受け入れ調整	利用希望者が増える中で、一人ひとりに合わせた丁寧な関わりを続けながら、無理のない受け入れ体制を整えることが課題となっています。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキルアップ研修を行う ・活動グループの分け方への工夫 ・職員配置において、支援体制の役割分担への工夫 ・個別対応時間の確保と関わり方を考える
2	おもちゃについて	おもちゃの種類や配置によって活動の広がりが変わります。子ども達がより主体的に遊びを選び、安心して過ごせるように現在の環境が子ども達の発達や興味に十分に合っているかを職員間で日々振り返り、修理したり必要に応じて購入する事に対して迅速な対応が難しい場合があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃの安全点検や整理整頓を定期的に行い、破損したおもちゃは速やかに確認・修理する ・おもちゃ修理ボックスの中身を定期的に確認し、修理対応が滞らないようにする